荒川区立第三峡田小学校

令和４年度　総合的な学習の時間　全体計画

児童の実態

全学年単学級であるため子供同士親しい。また子供だけでなく、教員との関係性も密である。

学校の教育目標

人権尊重の精神を基盤とし、心身ともに健康で豊かな心をもち、自主性と創造性に富み、広く国際社会に貢献できる人間性豊かな児童の育成を目指す。

元気な子供　元気な学校

地域の実態

協力的な保護者・地域に支えられている。区役所や消防署、リサイクルセンターなど公共に関わる施設が多くある地域である。

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。

目標実現にふさわしい探究課題【時数】	（１）探究的な学習の過程において，課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究的な学習のよさを理解するようにする。	（２）実社会や実生活の中から問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。	（３）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学　年	単元の目標
３　年 なるほど発見、ぼくらの町 【７０】	地域の特色を調べる活動や地域安全マップ作りを通して、自分たちの住んでいる地域のよい点や問題点に気付き、地域の一員として地域をよりよくするために自分たちにできることを考え、実践しようとする態度を養う。
４　年 アクアでドキドキ 【７０】	水の問題の現状、世界の水事情、日本の水事情、水と健康、校内での資源回収活動、３Ｒの仕組みを知り、自分たちにできる活動を通して限りある資源を大切にする行動の仕方を考え、取り組もうとする態度を養う。
５　年 持続可能な社会を目指して 【７０】	バケツ稲の栽培活動、各産業、食料生産などについて調べる活動を通して、生産の有用性や連携性、相互性に着目して多面的・総合的に考え解決し、多くの人々が関わりあって大切に育てられた限りある食料やそれを支える環境を大切にしようとする態度を育てる。
６　年 共につくる持続可能な社会 【７０】	「自分たちの住んでいる地域」について、自然災害が起きた場合の危険や、防災のための工夫、持続可能なよりよい社会のために、課題を見つけ出したり、調べたり自分にできることを考えて実践したりして進んで社会に参画しようとする態度を育てる。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
○生活科の学習履歴を生かす。 ○児童が本気になる学習材 ○児童の「？」や「！」がある学習。	○考えるための技法（思考ツール）の活用 ○思考を促すための具体的支援 ○教科との関連を視覚化。	○学習の深まりの期待できる活動の充実 ○外部人材との連携を構築する。	○ウェビング等で児童の課題作り力・変容を見取る。 ○ポートフォリオを活用。 ○年度末ごとに指導計画の評価を行う。

各教科との連携	地域との連携
○カリキュラムマネジメント（各教科で身に付けた資質・能力が発揮できるよう関連付ける）	○地域の教育資源を最大限に発掘・活用・発展に努め互恵性のある活動にする「社会に開かれた教育過程」